

## 目標達成計画

作成日: 令和 6 年 3 月 28 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向けて取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	運営方針として、「地域との交流と連携」「地域の中で事業所が孤立することのないような活動」を掲げているが、入居者の高齢化が進み、計画していた畑作業も難しくなっている。	・入居者が地域との繋がりを持ち、事業所自体が地域の一員として日常的に交流が図れるような環境作りを作る。	・自治会のイベントの中で、入居者が参加できるようなことがあれば、参加させて頂けるよう運営推進会議で議題にあげる。 ・地域包括センターが実施している認知症カフェに参加させて頂く。 ・地域貢献、地域連携に向け他事業所との交流や連携の検討を促進する。	12ヶ月
2	33	ターミナルケアについて入所時にご家族様のご意向を確認し同意を得ているが、ホームの大勢から看取りを実施されていない。	・看取りの研修を開催し全職員が看取りの取り組みの理解を得る。 ・看取りの際、全職員と共に心穏やかに、安心してケアを提供する。	・ターミナルケアに関しては、ご本人、ご家族と話し合い、医療機関と共に出来る事、出来ない事、これから起こりうる状況等を話し合いながら看取りを支援させて頂く。 ・職員全員で看取りに関しての意味、学びを行う。 ・何よりも第一に入居者自身が安心、安楽に生涯を過ごせるよう職員全員で話し合い、対応を行う。	12ヶ月
3	35	災害対策は、定期的に防災訓練を行っているが、地域との協力体制が築けていない。	・年2回火災、地震、昼夜想定した防災訓練を行っているが、火災、地震のみならず台風・土砂災害などの想定範囲を拡大した実践的訓練を地域住民とともに行い、地域との連携や協力体制作りを強化していく事を目指す。 ・災害計画書にも具体的な町内との連携体制を確立し記載もしていく ・ご家族様に災害時の連絡先や避難場所の周知を徹底していく。	・防災訓練と非難訓練の際、町内の方の参加の協力を頂けるよう運営推進会議で日程を案内する。 ・ご家族様への周知は近況報告や来訪時に説明を行って行く。 ・必要と考えられる物資のリストを作成。定期的に確認、補充をする流れを作り、BCPの整備をしていく。	12ヶ月
4					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。